

2011年3月期 決算説明

2011年4月28日



MES

三井造船株式会社

10年度決算のポイント

1. 09年度に引続き
高水準の利益を確保

2. 受注環境の回復は
足踏み

10年度決算のポイント

1. 09年度に引続き高水準の利益を確保

	<u>09年度実績</u>	<u>10年度予想</u>	<u>10年度実績</u>
営業利益	430億円	310億円	389億円
利益率	5.6%	5.2%	6.6%

建造船の採算向上

円高、鋼材高の影響

コスト削減施策で吸収

計画を上回る利益を達成

10年度決算のポイント

2. 受注環境の回復は足踏み

	09年度実績	10年度実績	
受注高	3,591億円	4,997億円	+39%

船舶

- ・上期前半はバルカーを中心に回復の兆しを見せたが下期は再び低調となる

鉄構建設

- ・鉄構事業の市場規模が縮小したがクレーン事業は回復基調

機械

- ・産業機械事業で製品需要の高まりが見られるも発注延期に

プラント

- ・投資意欲は回復基調にあるが発注に至るスピードは遅い

連結決算の概要

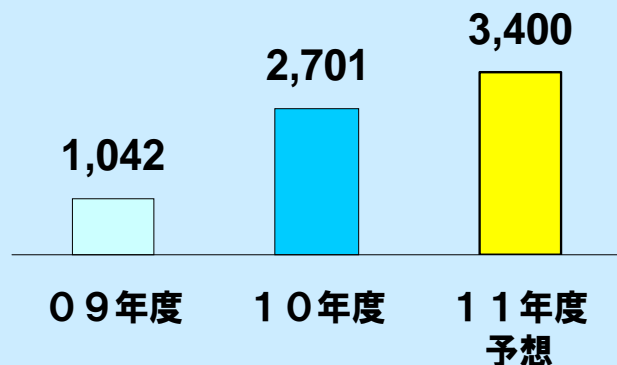
(単位：億円)

	09年度 実績	10年度 予想	10年度 実績	11年度 予想
受注高	3,591	6,500	4,997	7,100
売上高	7,660	6,000	5,892	5,700
営業利益	430	310	389	280
経常利益	420	280	362	260
当期 純利益	197	120	135	150

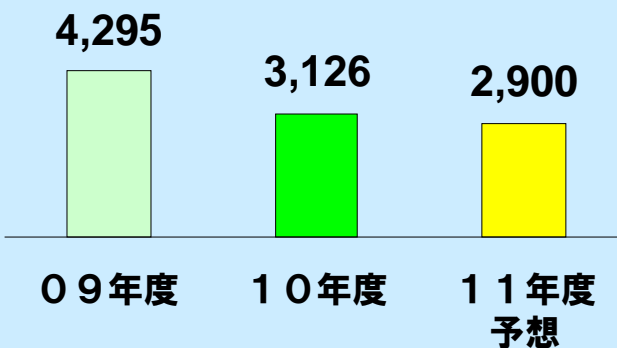
連結決算の概要一船舶部門

(単位：億円)

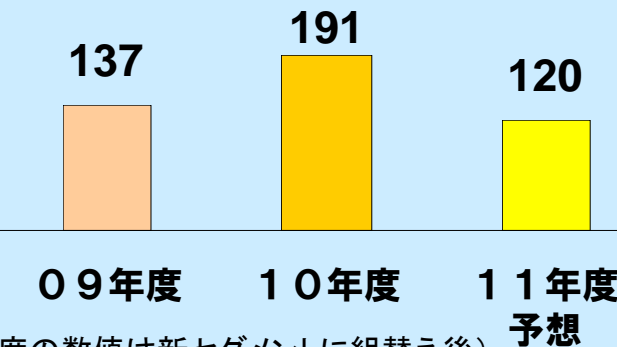
受注高



売上高



営業利益



(09年度の数値は新セグメントに組替え後)

商船受注復活

CO2削減船で受注機会拡大狙う

○受注高

- ・セミオープンBC 2隻、56BC 15隻順調に新規受注積む
- ・手持工事量は3年分弱を確保
- ・CO2削減船・新船型66BCの市場投入により受注機会の拡大を狙う

単体実績 (隻数)	09年度		10年度	
	受注	引渡	受注	引渡
56BC	0	18	15	21

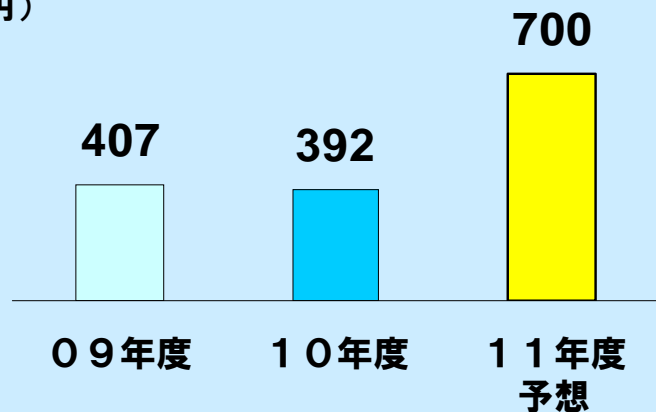
○売上高／営業利益

- ・売上高は建造船が順調に推移
- ・営業利益は円高や鋼材値上げの逆風あるもコストダウン努力で堅調を保つ

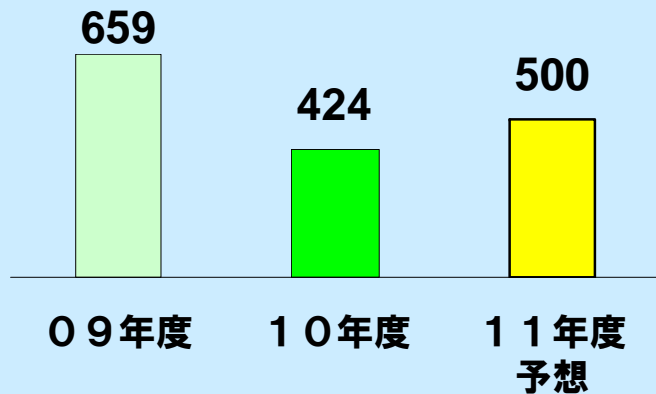
連結決算の概要—鉄構建設部門

(単位：億円)

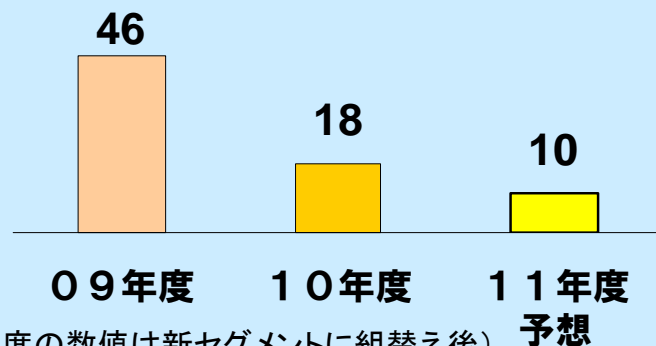
受注高



売上高



営業利益



(09年度の数值は新セグメントに組替え後)

クレーンマーケットはほぼ回復

○受注高

- ・ 完全電動トランスレーナの納入
- ・ 新型ハイブリッドトランスレーナを初受注
- ・ 東南アジアの社会インフラ整備事業に注力
- ・ 国内公共事業はさらに競争激化

実績 (基数)	09年度		10年度	
	受注	引渡	受注	引渡
ポーテナー	6	14	10	6
トランスレーナ	6	32	23	8

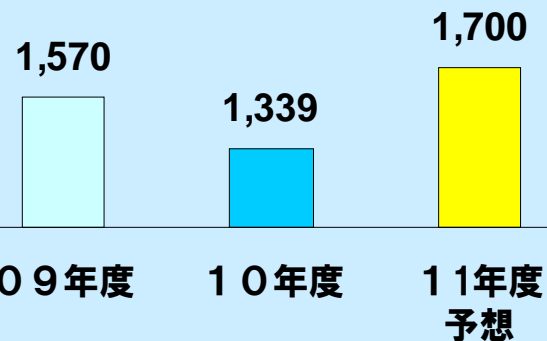
○売上高／営業利益

- ・ 売上高は予想を下回ったが、コスト改善が寄与し、営業利益は予想通りの数値を確保

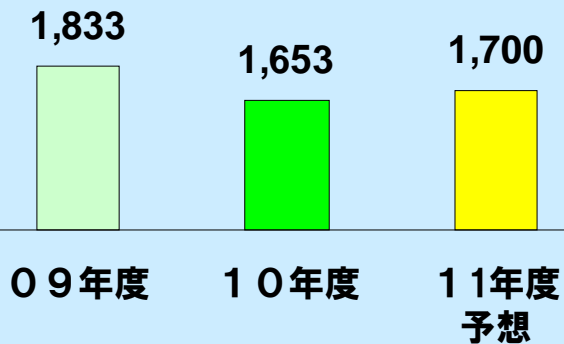
連結決算の概要—機械部門

(単位：億円)

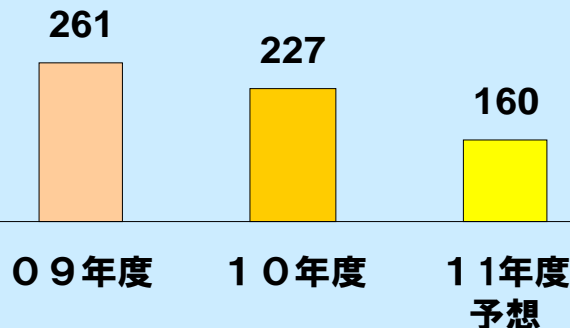
受注高



売上高



営業利益



(09年度の数值は新セグメントに組替え後)

受注環境は厳しくなっているが 利益水準を維持

○受注高

- ・ 船用ディーゼル事業は、前年度並の仕事量を確保。環境対応技術の開発・実証、また、更なるコストダウンにより受注拡大を目指す
- ・ 産業機械事業は、中東・東南アジア等からの引合案件が増加しており、11年度に期待する
- ・ アフターサービス事業は、特に納入実績の多い船用ディーゼル機関で受注拡大を目指す

○売上高

- ・ 産業機械事業で若干の減少なるも、他事業が堅調であったことから微減に留まる
(船用ディーゼル機関)

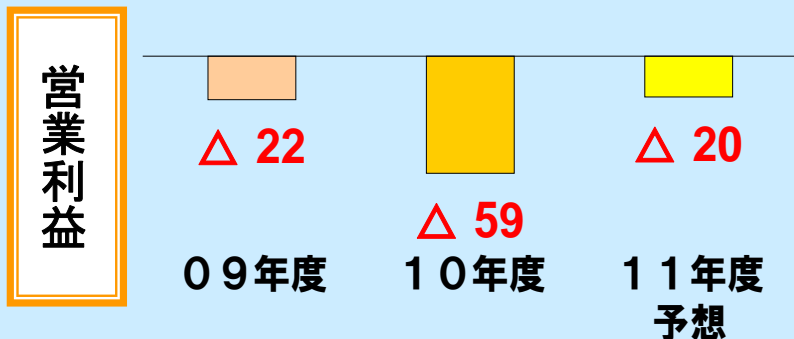
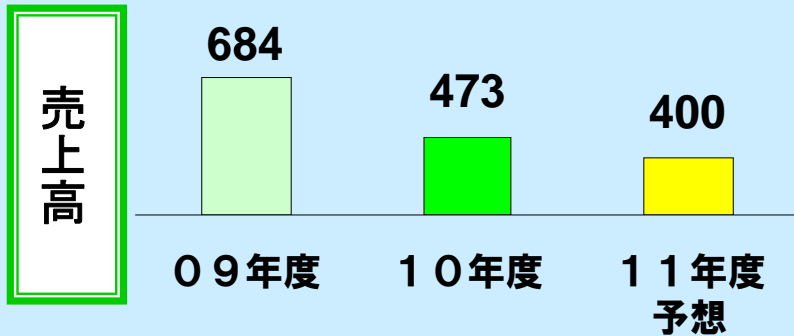
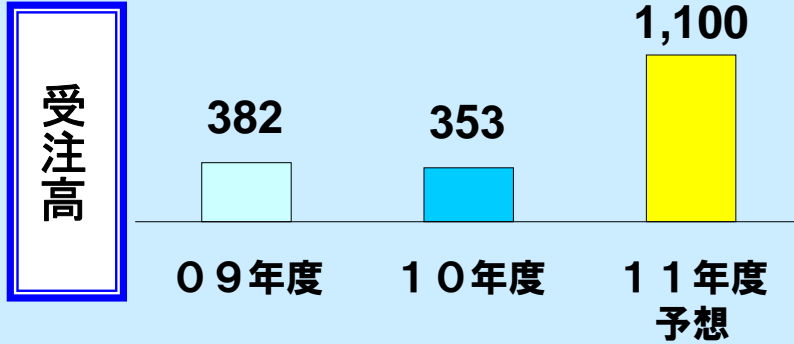
実績	09年度			10年度		
	受注	売上	受注残高	受注	売上	受注残高
基数	190	196	223	191	199	215

○営業利益

- ・ 製品毎には損益面のバラつきが見られるもの、主力事業の利益水準は維持

連結決算の概要ープラント部門

(単位：億円)



(09年度の数值は新セグメントに組替え後)

投資計画延期により 大規模案件が11年度へ

○受注高

- ・小規模国内プラントを順調に受注
- ・投資計画案件は着実に増加、11年度の早期受注を目指す

○売上高／営業利益

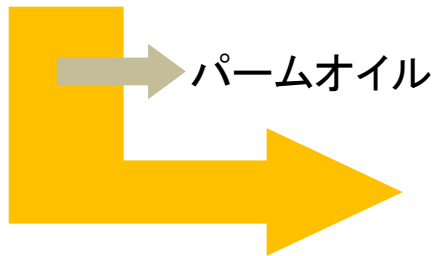
- ・受注低迷により売上高減少

売上高 内訳 (億円)	09年度	10年度
化学プラント分野	496	239
環境分野	188	234

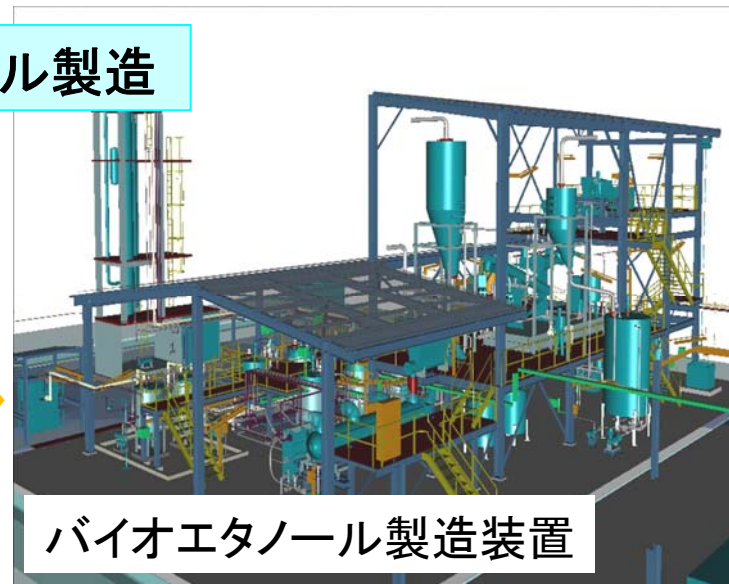
バイオエタノール製造事業

■ アブラヤシのヤシ殻(房)を原料とするエタノール製造

アブラヤシ



ヤシ殻(房)



バイオエタノール製造装置

■ 事業選定のポイント

【原料】

- ・未利用バイオマスの活用
- ・原料が膨大である
(マレーシア・インドネシアで年間4,000万トン発生)
- ・非可食原料のため食糧と競合しない
- ・季節変動のない安定供給が可能

【ビジネスパートナー】

サイムダービー社(世界最大級のプランテーション企業)との協業

2013年の商用生産を目指す

次世代リチウムイオン電池正極材事業

■ リン酸鉄リチウム正極材料の開発

現状のリチウムイオン電池の課題

- ・資源制約があるレアメタル (Co, Ni, Cr, Ti 等) を使用
- ・安全性と寿命
- ・高コストで価格変動が大きい



次世代リチウムイオン二次電池正極材の開発

リン酸鉄リチウムの特長(従来品)

長所	資源的制約が少ない、価格変動が少ない 安全性が高く長寿命、理論容量が大きい
短所	低導電性



当社独自の
技術を導入し
性能を向上

■ 事業化計画

【設備計画容量】
2,000トン/年 規模



2012年度下期の
商用生産を予定

NGH事業

次期パイロットプロジェクトに向けたNGHチェーン技術の着実な進展

- ・新興国ガス需要急増
- ・温暖化ガス削減

中小ガス田開発加速

2017年以降に需給が逼迫

- NGHの強み
- ・低コスト
 - ・安全性
 - ・低CO2



柳井プロジェクト (5TPD)

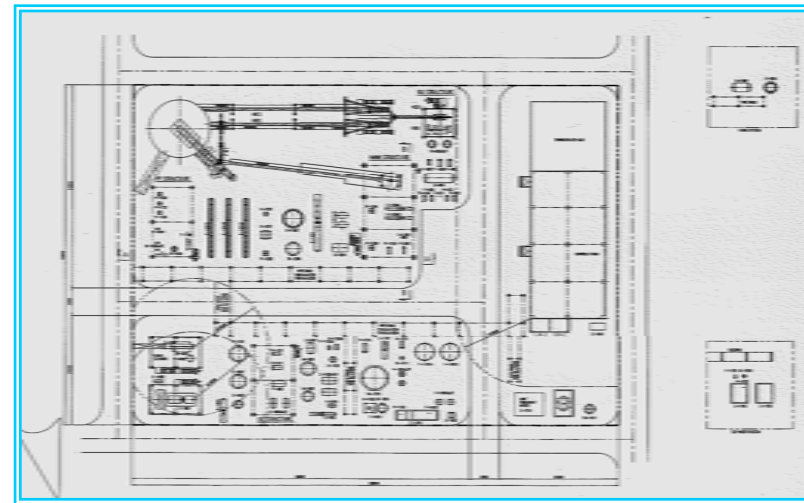


次期パイロットプロジェクト (100TPD)



商業プロジェクト (6000TPD)

累計500時間運転達成



次期パイロットプラントのプロットプラン(計画中)
2014年頃の実証運転開始を目指す

バラスト水処理装置

対象船舶は、新造船と既存船の両方

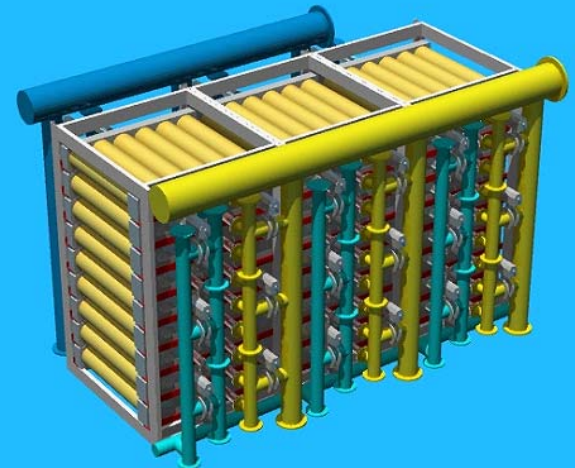
■ FineBallast™ OZ

スペシャルパイプとオゾンを利用した装置の型式承認を取得し、2011年度に市場投入予定。

← IMO(国際海事機関)のG9 Finalを昨年9月に取得

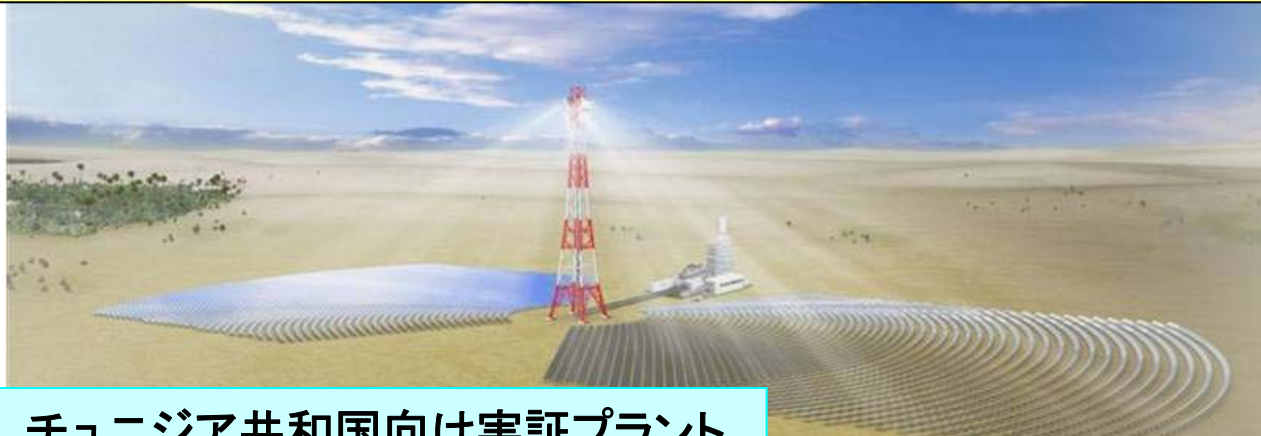
■ FineBallast™ MF

膜方式による装置の型式承認を2011年度に取得予定。



太陽熱発電事業

太陽熱コンバインドサイクル発電 (ISCC) プラント計画



チュニジア共和国向け実証プラント

集光型太陽熱発電

ガスタービン
コンバインドサイクル発電

ISCC

(Integrated Solar Combined Cycle)

2010年11月にFSを受託

10年度 連結損益計算書（要約）

（単位：億円）

	09期末		10期末		増減
	金額	比率	金額	比率	
売上高	7,660	(100.0%)	5,892	(100.0%)	△ 1,768
売上原価	6,812		5,071		
売上総利益	848		821		
販売費及び一般管理費	418		432		
営業利益	430	(5.6%)	389	(6.6%)	△ 41
営業外収益	63		42		
営業外費用	73		68		
経常利益	420	(5.5%)	362	(6.1%)	△ 58
特別利益	5		2		
特別損失	93		91		
税引前利益	332	(4.3%)	274	(4.6%)	△ 58
法人税、住民税及び事業税	154		135		
法人税等調整額	△ 18		△ 9		
少数株主利益	△ 1		13		
当期純利益	197	(2.6%)	135	(2.3%)	△ 62

10年度 連結貸借対照表（要約）

（単位：億円）

	09期末	10期末	増減		09期末	10期末	増減
流動資産	(4,203)	(3,557)	(△646)	支払手形・買掛金	1,665	1,403	△ 262
現預金	713	517	△ 196	前受金	795	609	△ 187
受取手形・売掛金	2,158	1,558	△ 600	有利子負債	1,978	1,720	△ 257
仕掛品	388	382	△ 6	その他	1,189	1,193	4
短期貸付金	490	663	172	負債合計	(5,627)	(4,926)	(△701)
その他	454	438	△ 15	資本金	444	444	0
固定資産	(3,226)	(3,306)	(80)	資本剰余金	182	182	0
有形固定資産	2,101	2,219	118	利益剰余金	764	859	95
無形固定資産	115	121	5	自己株式	△ 6	△ 7	0
投資有価証券	512	472	△ 40	その他包括利益累計額	222	165	△ 56
その他	498	494	△ 4	少数株主持分	197	294	98
合計	7,429	6,863	△ 565	純資産合計	(1,802)	(1,937)	(136)
				合計	7,429	6,863	△ 565

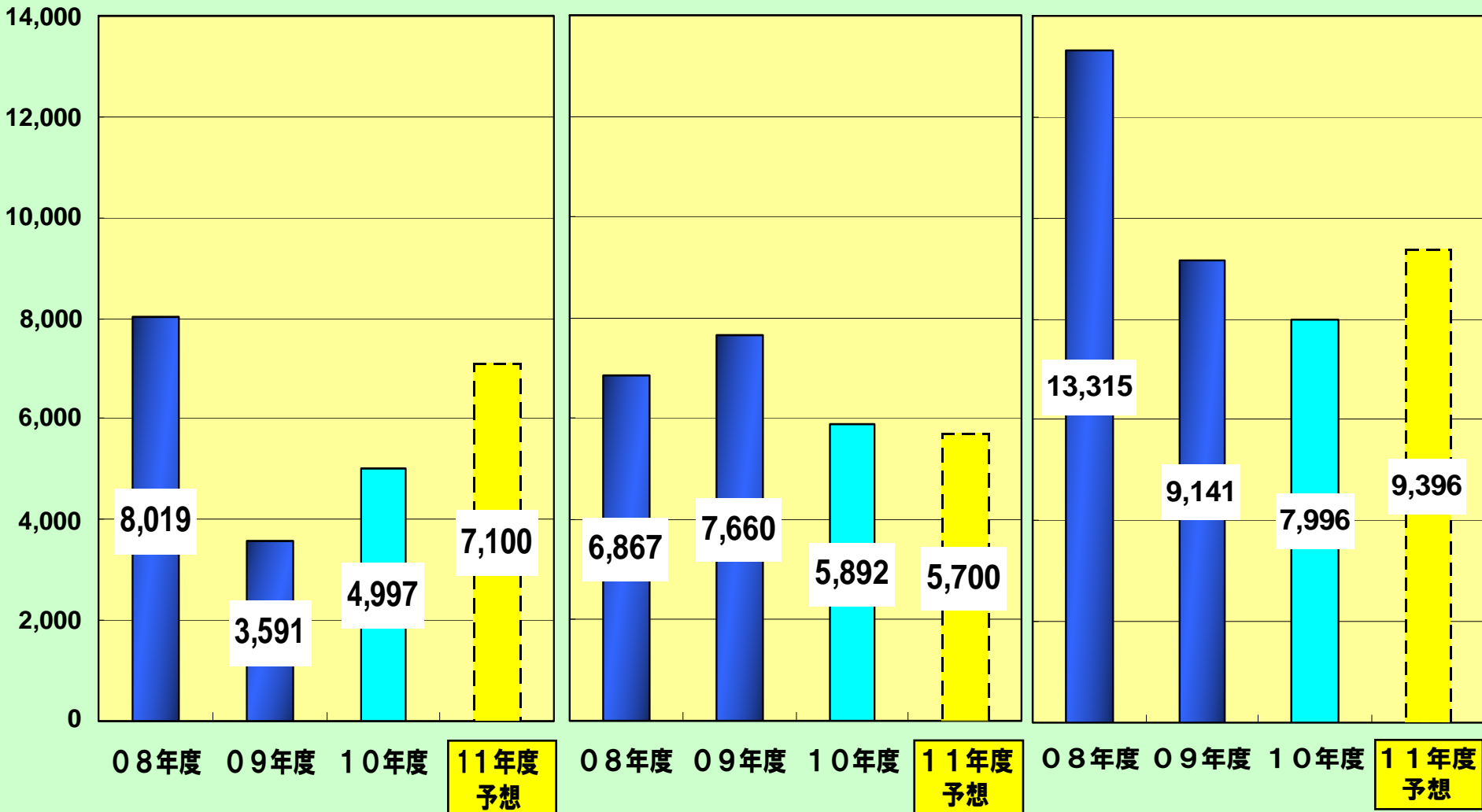
連結受注高・売上高・受注残高推移

(億円)

受注高

売上高

受注残高



連結受注高・売上高・営業利益の内訳

(単位：億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	09年度 実績	10年度 実績	11年度 予想	09年度 実績	10年度 実績	11年度 予想	09年度 実績	10年度 実績	11年度 予想
船 舶	1,042	2,701	3,400	4,295	3,126	2,900	137	191	120
鉄 構 建 設	407	392	700	659	424	500	46	18	10
機 械	1,570	1,339	1,700	1,833	1,653	1,700	261	227	160
プ ラ ント	382	353	1,100	684	473	400	△22	△59	△20
そ の 他	189	211	200	190	216	200	8	12	10
合 計	3,591	4,997	7,100	7,660	5,892	5,700	430	389	280

(09年度の数值は新セグメントに組替え後)

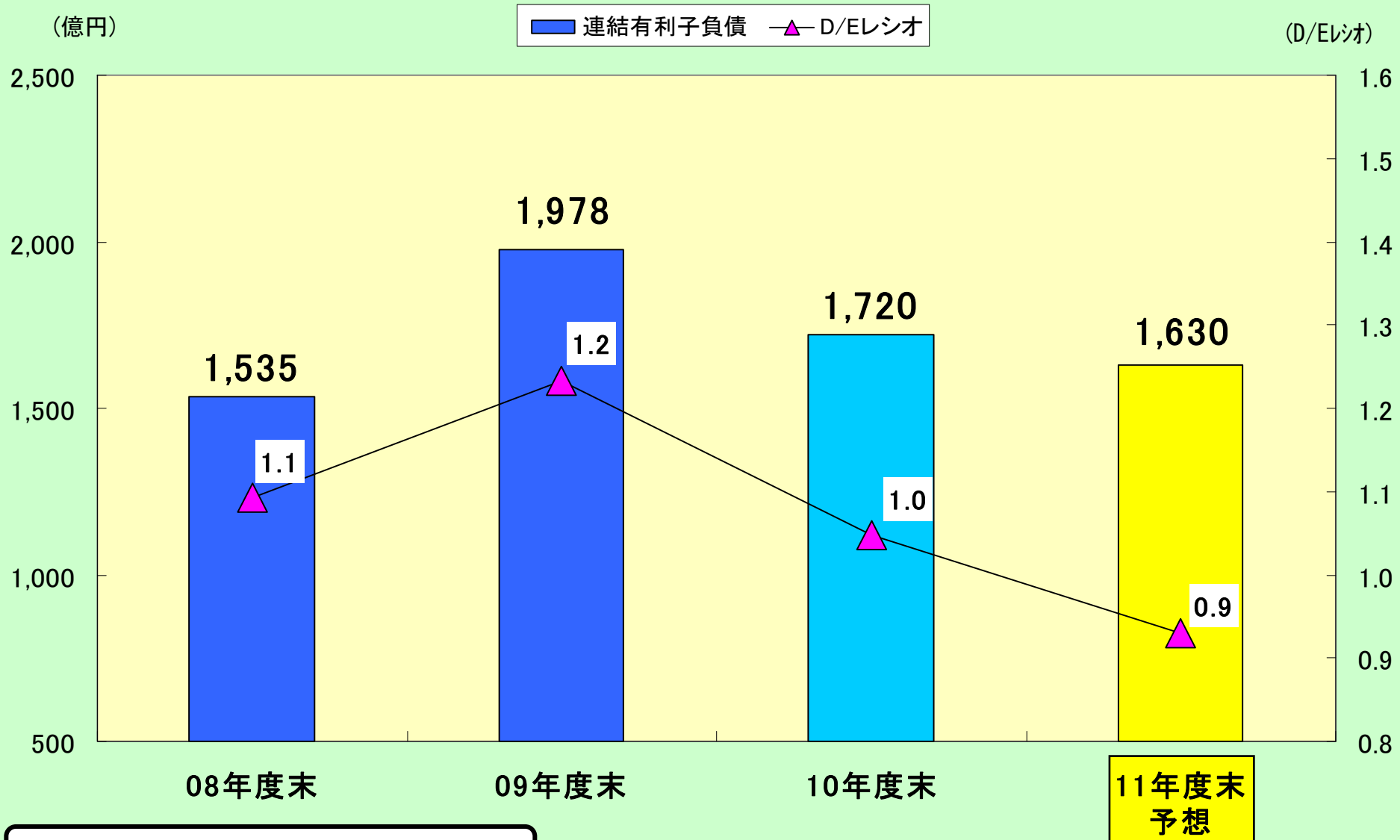
連結キャッシュフローの状況

(単位：億円)

摘要	09年度 実績	10年度 予想	10年度 実績	11年度 予想
営業活動による キャッシュフロー	△186	110	292	120
投資活動による キャッシュフロー	21	△400	△428	△50
財務活動による キャッシュフロー	238	△100	△65	△90
有利子負債	1,978	1,650	1,720	1,630

＊10年度予想は10年11月1日公表の修正予想数値
 ＊有利子負債はリース債務を除く

連結有利子負債残高とD/Eレシオの推移



*有利子負債：リース債務を除く